

やまのうち通信

第176号 その①



令和3年12月20日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑Instagram QRコード



↑Facebook QRコード

第14回のろしリレーが開催されました！



撮影者：安好芳子さん

令和3年11月23日、毎年恒例ののろしリレーが開催され、北、高、庄原、峰田、山内の5つの自治振興区が参加しました。

山内自治振興区では、自治会長会のメンバー、山内郷土史研究会のメンバー15名が午前10時に円通寺境内に集合し、記念撮影をした後、甲山城跡に登り、のろし用の材料作り、のろしの土台作り、周辺の草刈り、草集めなどを行い準備しました。リレーは、北、高、庄原、峰田、山内の順番で行われ、山内は11時42分の点火となりました。

当日は朝から晴れたり、曇ったり、小雨模様だったりで、他の自治振興区のは見えにくい状況でしたが、峰田自治振興区が点火したその時、一瞬だけ奇跡的に見える状況となり感動しました。

今回も様々な場所から甲山城跡ののろしを撮影していただきましたが、山王自治会からの撮られた写真には、大きい虹の間にのろしが見えており、このような光景は過去初めてでこれも感動的でした。



撮影者：國利知史さん



のろしの準備に協力してくださった皆さん

のろしリレー開催に協力してくださった地域の皆さま、ありがとうございました！

→ 甲山から見た峰田自治振興区のはろしです



→ 本郷町の方から差し入れをいただきました



のろしの消火をしてくださった消防団の方

庄原市内には、たくさんの介護・福祉関係の施設がありますが、その多くで介護職が不足していると言われます。広島県全体では、2025年に6,700名の介護職員の不足が見込まれています。これは、全国的な状況だということで、国は介護人材の処遇（給与等）を改善するための施策を行っています。

介護の仕事が3K（「きつい」・「汚い」・「危険」）の仕事と言われることもありますが、介護の仕事は、他では感じることはできない魅力のある仕事だと思っています。

私たちが、仕事で一緒にいる方々は、病気や障害等でコミュニケーションが難しく、「ありがとう」の言葉を表現できない、できにくい方もおられます。しかし、表情やこれまでの人間関係から「ありがとう」のサインを伝えたり、感じさせてくださる方ばかりです。

この「ありがとう」のサインをご本人やご家族、職場の仲間と共有できるのがこの仕事の最大の魅力だと思っています。介護の仕事の魅力は、「感謝をわかちあえる仕事」だと言い換えることもできるでしょう。少々、できすぎ？の表現のような気がしますが、この分野で仕事をする人たちは、ご利用者との関係の中で、仕事の喜びを感じることはできる人だと思っています。

また、ご家族や地域の方々の声が私たちが元気づけてくださることも多いです。

新型コロナウイルス感染症に関して厳しい状況にある時に、匿名で「ありがとう」と書いた大きな横断幕が届いたのです。一番大変な時にいただいた「ありがとうのサイン」に、職員はどれだけ力をいただいたことかと、感謝しかありません。

私たちの職場では、介護福祉士を中心に、高校卒業後1年目の職員から、かなりのベテランさんまで色々な経験をされた方が一緒に仕事をしています。いろんな方のやる気や経験が生かされる職場でもあります。中途から資格を取得する職員さんも多くおられます。

今回は、仕事としての介護・福祉の魅力を知っていただきたい思いで、原稿を書かせていただきました。庄原には、やる気の介護・福祉職員さんと施設がたくさんあります。お仕事として興味を持たれる方がおられましたら、それぞれの施設等へぜひお問い合わせください。介護の仕事は、地元でこれまでの経験を生かして働くことができる魅力あるお仕事です。

庄原市老人介護支援センター相扶園 荒木 和美



12月環境パトロール隊



右から、
児玉祥功さん・安藤優さん・
松村修治さん

投稿写真の紹介です！ 日向自治会

日向自治会では、11月14日(日)、防火水槽に堆積した土砂を取り除きました。



おたがいさまネット 「山内おたがいさまネットの重要性を再認識」

12月4日、「ささやかだけど“キラッ”と輝く地域の取り組み」と題して、令和3年度庄原市生活支援体制整備事業実践報告会が開催されました。会場の庄原市ふれあいセンターには、市内各所から「暮らしやすい地域づくり」を目指す関係者が集まりました。会はこの事業の背景と目的についての説明に続いて、東自治振興区「社会福祉部会」、東城町久代自治振興区「元気作り部会」、比和自治振興区「あんしんづくり会議」から、活動事例の発表がありました。3地区共にそれぞれの地域事情に沿って、「安心・安全に暮らせる地域づくり」に取り組まれていることが分かりました。

その中で共通していえることは、「地域づくり」は住民が主体的に取り組む活動であり、地域の「支え合い・助け合い」を形にするためには住民同士のつながりが基礎になるということです。住民ぐるみで地域での暮らしを守ることは自分自身の暮らしを守ることにもなります。当山内地区において平成23年(2011年)より始まった「おたがいさまネット」もこの様な趣旨の取り組みとして継続を図っています。

山内に於ける「おたがいさまネット」は「一人暮らし高齢者等の見守りと災害時の避難支援」を基本目標にしています。またその仕組みの特長は「自治会ごとに立ち上げ、自治会長を中心に民生委員、一人暮らし高齢者等巡回相談員、老人会などの地域メンバーが情報交換や協議の場を「関係者会議」として設け、連携して運営にあたる」というもので、10年を経ても色あせていません。今回他地区の活動に触れて、改めて当地区の「おたがいさまネット」の活動の意義を再認識した次第です。



さて、新型コロナウイルスの感染が下火になり、少し安堵する一方で、オミクロン型変異株の感染拡大が危惧される年末になりました。引き続きマスク、消毒、手洗い、換気などの感染予防に努める日々が続きます。また寒さが増して来るこの時期は「見守り活動」にも注意が必要です。高齢者には屋内に閉じこもって過ごすことが多くなり、姿が見えにくくなること、ヒートショックによる風呂場やトイレでの事故が起こり易いことに留意して、日々の見守りにあたっていただきたいと思います。

地域マネージャー 三上智道

投稿写真の紹介です！「日向自治会女性部 担当 岡本地区」



写真撮影の為、マスクをはずしています

日向自治会女性部では、12月9日(木)自治振興センターにて、研修会&親睦会を開催しました。内容は、「高齢者の健康づくり ～フレイル予防に～について」でした。

参加者から「とても良い勉強になりました。」との声をいただきました。研修会の後は、おいしいお弁当を食べて懇親を深めました。なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。



山内ウエスト少年野球部を紹介します！

現在、山内ウエスト少年野球部は山内小学校の児童 15 名で活動を行っています。子供達はいつも元気一杯に校庭を走り回りながら練習に励んでいます。



今年はコロナ禍で練習や試合がいつものようにできませんでしたが、10月と11月に行われた各招待試合では、優勝2回、準優勝1回と優秀な成績を収めることができました。6年生は活動期間も残り少なくなりましたが、これまで6年生や先輩達がしてきた、「楽しく」「元気に」「礼儀よく」全力プレーする野球を後輩達にも受け継いでいってほしいです。

山内ウエスト 監督 内田一樹

年末大掃除のご協力ありがとうございました！！



午前の部の皆さん

12月1日（水）恒例の山内自治振興センターの大掃除が行われ、各教室の皆さん、山内小学校6年生の皆さん、民生委員、老人会、女性会、ふれあい給食会、自治会長会、放課後子ども教室指導者会の皆さんにご協力いただき、全部の部屋の大掃除をしていただきました。



午後の部の皆さん



今年も昨年につき新型コロナウイルス感染症対策で、人数を制限し、午前と午後に分かれて作業を行っていただきました。きれいにしていただきありがとうございました。

おくりもの

11/13～12/10

◆香典返し

山内町 下田一輝様(故 絹枝様)
本郷町 竹益秀穂様(故 光子様)
ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会



センター利用時のお願い

山内自治振興センター施設をご利用の際は、ストーブ・エアコン等の切り忘れや火の取り扱いに十分注意してください。よろしくお祈りいたします。

事務局

1月の予定

- 11日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会
- 25日 ふれあい給食



やまのうち通信

第176号 その②

令和3年12月20日

山内自治振興センター

庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

JR 芸備線山ノ内駅カープ号歓迎イベントを開催しました

山内自治振興区では11月28日(日)午前9時から広島カープをイメージした赤いラッピング車両「カープ号」が初めて走るといふことで、JR山ノ内駅で歓迎イベントを行いました。当日は良い天気恵まれましたが、朝は霧が濃く車両は見えにくい状況でした。



現在JR芸備線は乗降客も減少し、廃線もささやかれており、芸備線を活性化させようと庄原市を中心とした広島県内の有志の皆さんの寄付により、ラッピング車両「カープ号」が完成しました。



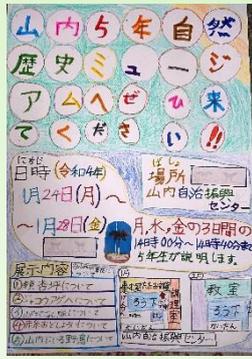
広島駅を出発したラッピング車両は午前9時30分山ノ内駅へ到着し、待ち受けていた子どもや大人約130人の山内地区住民が、手作りのミニこいのぼりを振ったり、幟旗を振ったりして歓迎しました。イベント終了後には、参加者全員に山内のブランド米「里山の夢」を使用した、「おむすび」と「米粉クッキー」を配布しました。

今回、写真を提供して下さった皆さま、ありがとうございました。



定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

山内地域の魅力を子どもたちの視点で発信する場、子ども自然歴史ミュージアムのポスターが届きました。開館が待ち遠しいですね。



山内でごおし隊出動 遠方にお住いで高齢の方から空き家賃貸の情報を頂きました。県大生さんたちにもご協力頂き、あっという間に仕分け作業も進み終了しました。リサイクルマーケットに出品ご寄付いただくことになりました。



山内でごおし隊出動 移住者支援。小学校の総合学習3.4.6年生さんとともに移住して来られたお家に、てごに行きました。溝掘り、枯草集め、農機具洗い、小屋掃除……。優しい古民家のたたずまいの良さを改めて共に感じた大切な時間となりました。



庄原市に司法書士、宅建士、行政書士、社会福祉士、土地家屋調査士、税理士、弁護士さん、様々な専門家で構成されたネットワークが立ち上がりました。空き家解決セミナーにも参加させて頂いています。住民の皆様のお悩みも気軽に相談を受けてくださいます。本当に心強い存在です。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

日吉神社で山内歴史学・交流会を開催しました！

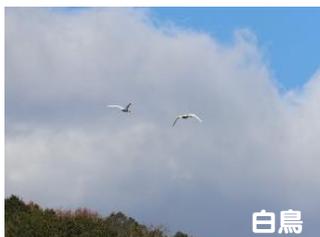


堀江椰睦くん説明の様子

11月28日に山内クラブ・山内郷土史研究会・山内自治振興区定住促進チーム主催で、日吉神社にて「山内歴史学交流会」を開催しました。

始めに地域の方達とカープ列車を駅で見送りました。それから日吉神社境内にて、山内郷土史研究会から、日吉神社編を堀江椰睦くん(中1)、頼杏坪編を曾根淳治さん(郷土研会長)にナビゲートしていただき

ました。この日は天気の良い条件が良く、赤糸織鎧兜も観させてもらおう事が出来ました！！交流会では児玉宮司達による即興ウクレレやギター演奏♪、地域の方が大きな鍋でお汁を用意してくださり、昼食をとりました。また、速報で国兼川に白鳥が現れた！？と聞けば白鳥ツアーを実行しました。このコロナ禍ですが、地域の方々のご協力で楽しい時間、体験が出来ました。皆さま、ありがとうございました！



白鳥



ウクレレ演奏



しし鍋



↑曾根淳治さん説明の様子

山内クラブ 堀江道子